

■ 図書室紹介 ■

福岡赤十字病院 図書室

森 谷 優理子

福岡赤十字病院は、福岡の中心から少し南に位置し、地域中核病院として急性期医療と地域連携に力を入れている病院です。

私が当病院の図書室勤務となり一年が過ぎました。着任当初からの課題だった電子ジャーナルの拡大は、今年1月からコンソーシアムでのデータシステムの導入をしたことで大幅な電子ジャーナル閲覧数の増加となりました。データシステムの導入は、以前から図書委員会でも議題になっており先生・職員の方も関心が大きかったのですが、一度に4種類のデータベース（和1：「メディカルオンライン」、洋3：「MDCConsult」「MEDLINE with Full Text」「LWW Fixed.10」）導入は、データベース毎の検索が必要という手間が掛かり、「使いづらい」「面倒」との声もあがりました。そこで、図書委員の先生や協議会メンバーに相談し、図書室協議会で説明が行われたPubMedLinkOutに挑戦することとなりました。洋雑誌データベース・契約電子ジャーナルをリンクし、閲覧可能な文献と図書室所蔵雑誌の文献にアイコン表示設定をすることで、①一回の検索で入手可能な文献か否かがわかり、②同時にアイコンをクリックするだけで全文閲覧が可能となりました。医中誌 webでもアイコンを表示させることで、文献入手と所蔵確認ができます。

図書室だよりに文献入手方法を掲示してからは、「この機能が無くなったら困る」との声も頂戴しました。少しほっとしたこと、嬉しかったのを覚えています。雑誌の電子ジャーナル化が進む中で、それに付随する知識も必要とされます。今回のシステム導入は、自分の勉強不足を認識するとともに病院図書室としての機能充実の第一歩となりました。これからの課題として、図書室自体の充実を日々行いたいと思います。

日頃から、協議会の皆様には文献複写や業務内容の相談等で大変お世話になっております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



福岡日赤：図書室ポータルサイト



Journals@Ovid 説明会 (LWW)

MORIYA Yuriko

福岡赤十字病院 図書室

library@fukuoka-med.jrc.or.jp